

神の印 the seal of God と獣の刻印 the mark of the beast



コリント信徒への手紙Ⅱ 1:22

神はまた、わたしたちに証印を押して、保証としてわたしたちの心に“霊”を与えてくださいました。

ヨハネの黙示録	7:2 わたしはまた、もう一人の天使が生ける 神の刻印 (口語訳: 神の印 、欽定訳: the seal of the living God)を持って、太陽の出る方角から上って来るのを見た。この天使は、大地と海とを損なうことを許されている四人の天使に、大声で呼びかけて、
ヨハネの黙示録	7:3 こう言った。「我々が、神の僕たちの額に 刻印 (口語訳: 印)を押してしまうまでは、大地も海も木も損なってはならない。」 →欽定訳:till we have sealed the servants of our God in their foreheads.
ヨハネの黙示録	7:4 わたしは、 刻印 (口語訳: 印)を押された人々の数を聞いた(→And I heard the number of them which were sealed)。それは十四万四千人で、イスラエルの子らの全部族の中から、 刻印 を押されていた。
ヨハネの黙示録	7:5 ユダ族の中から一万二千人が 刻印 (口語訳: 印)を押され(→And I heard the number of them which were sealed)、/ルベン族の中から一万二千人、/ガド族の中から一万二千人、
ヨハネの黙示録	7:8 ゼブルン族の中から一万二千人、/ヨセフ族の中から一万二千人、/ベニヤミン族の中から一万二千人が/ 刻印 (口語訳: 印)を押された(→Of the tribe of Benjamin were sealed twelve thousand)。
ヨハネの黙示録	9:4 いなごは、地の草やどんな青物も、またどんな木も損なってはならないが、ただ、額に 神の刻印 (口語訳: 神の印)を押されていない人には害を加えてもよい(→but only those men which have not the seal of God in their foreheads)、 と言い渡された 。
ヨハネの黙示録	13:16 また、小さな者にも大きな者にも、富める者にも貧しい者にも、自由な身分の者にも奴隷にも、すべての者にその 右手か額に刻印 (口語訳: 刻印)を押させた(→to receive a mark in their right hand, or in their foreheads)。
ヨハネの黙示録	13:17 そこで、この 刻印 (口語訳: 刻印)のある者でなければ、物を買うことも、売ることできないようになった。この 刻印 (口語訳: 刻印)とはあの獣の名、あるいはその名の数字である(→And that no man might buy or sell, save he that had the mark , or the name of the beast, or the number of his name)。
ヨハネの黙示録	14:9 また、別の第三の天使も続いて来て、大声でこう言った。「だれでも、獣とその像を拝み、額や手にこの 獣の刻印 (口語訳: 刻印)を受ける者があれば(→and receive his mark in his forehead, or in his hand)。
ヨハネの黙示録	14:11 その苦しみの煙は、世々限りなく立ち上り、獣とその像を拝む者たち、また、だれでも 獣の名の刻印 (口語訳: 刻印)を受ける者は(→and whosoever receiveth the mark of his name)、 昼も夜も安らぐことはない 。」
ヨハネの黙示録	16:2 そこで、第一の天使が出て行って、その鉢の中身を地上に注ぐと、 獣の刻印 (口語訳: 刻印)を押されている人間たち(→the men which had the mark of the beast)、また、 獣の像を礼拝する者たちに悪性のはれ物ができた 。
ヨハネの黙示録	19:20 しかし、獣は捕らえられ、また、獣の前でしるしを行った偽預言者も、一緒に捕らえられた。このしるしによって、 獣の刻印 (口語訳: 獣の刻印)を受けた者(→that had received the mark of the beast)や、獣の像を拝んでいた者どもは、 惑わされていたのであった 。獣と偽預言者の両者は、 生きたまま硫黄の燃えている火の池に投げ込まれた 。
ヨハネの黙示録	20:4 わたしはまた、多くの座を見た。その上には座っている者たちがおり、彼らには裁くことが許されていた。わたしはまた、イエスの証しと神の言葉のために、首をはねられた者たちの魂を見た。この者たちは、あの獣もその像も拝まず、額や手に 獣の刻印 (口語訳: その刻印)を受けなかった(→neither had received his mark upon their foreheads, or in their hands)。彼らは生き返って、キリストと共に千年の間統治した。

※神の印(欽定訳から見て、「神の刻印」は正確な翻訳ではない)等の表記:聖書協会共同訳も新共同訳と同じ訳となっている。

seal[気体や液体などの]密封、密閉、[容器などの]封、封印、[ろうやパテなどの]封ろう、密封剤、[切手に似た]シール、[印影を残すための]印鑑、はんこ、[印鑑で押された]印影、印形、[省庁などの]標章、紋章、[保証や確認などの]しるし、証明、[開けられないように~を]封印する、[漏れないように容器などを]密封する、密閉する、
[証明のために~に]印を押す、押印する、[押印して決定事項などを]確認する、認める、[運命などを]確定させる、決定的にする、[モルモン教で結婚や養子を]聖別する

mark[傷や汚れなどの]跡、印、点、線、へこみ、[所有・製造者などを表す]商標、[家畜の所有者を表す]耳標、焼き印、《marks》[人や業績の]評価、格付け、[性質などの目立った]特徴、印等々